

## 1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面	弱	普通	強	指数
思索型	内閉性 : 社交意識が低い				54
	客観性 : 思考的思慮深い				67
活動型	身体性 : 機敏な・気軽な				51
	気分性 : 感情のまま行動				33
努力型	持続性 : 几帳面・忍耐力				75
	規則性 : 常識的・順法的				40
積極型	競争性 : 勝気な・積極的				50
	自尊心 : 気ぐらいが高い				53
自制型	慎重性 : 見通しをつける				73
	弱気さ : 取越苦労・遠慮				37

■この人の中心性格は「努力・持続性」および「自制・慎重性」であるが、「思索・客観性」や「思索・内閉性」といった側面も本人は意識している。

●「努力・持続性」及び「自制・慎重性」の人のパーソナリティスケッチ  
 単調な作業であっても、飽きずに長時間こなせる持続性がある。努力と忍耐をもって、目標に向かっていくといった傾向がある。一事に没頭する徹底性がみられ、人からはそれがしつこいと思われることもあるほどで、夢中になると他のことには目がいかなくなる場所がある。几帳面だが、ガンコで堅物との印象もあり、社会の秩序を乱す行動は慎み、通俗的な道徳観の持ち主で、物事の判断もそれに沿ったものになる。とはいえ、規則やしきたりにこだわりすぎるというわけではなく、いつも普通の人でありたいと思う願望が常識的な行動をとらせている。また、状況を鵜呑みにせず、先が見えるまでアクションを起こさないという慎重さも本質のひとつである。感情を抑え、落ち着いた雰囲気信頼される。しかし、問題が起こったりすると、小さなミスでもいつまでも気にかけてたり、他の人はとっくに忘れてしまうような失敗を、いつまでも忘れられず悩んだりするところもある。できることだけを小さくまとめるため、思いきった積極的な行動はしない。

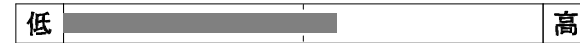
●もう一方の性格特性  
 気分屋ではなく、情緒的には安定していて、いつも一定のリズムをもって生活している。手がけた仕事を途中で放りだすといった気分屋的なところがなく、発想も堅実である。感覚的な判断ではなく、理詰りな考え方をとる。

## 2 どういう関心事・興味領域を持っているか

興味の方向性	弱	普通	強	指数
日常周辺事型				40
客観・科学型				57
社会・経済型				46
心理・情緒型				40
審美・芸術型				62

俗世間的な事に興味がない。しきたりなどは気にしない。  
 物事を分析的に考える、又はそのまま事実のみみらえる。  
 人の心理動向や情緒的な事に対して、あまり関心がない。  
 芸術的関心が高く、世界を美的観点でとらえようとする。

## 信頼係数



回答に多少あいまいなところもあるが、おおよその部分が信頼できる診断結果である。

## 3 基礎的な職場場面での社会性

診断項目	弱	普通	強	指数
積極性				59
協調性				40
責任感				76
自己信頼性				67
指導性				59
共感性				50
感情安定性				61
従順性				32
自主性				62
モラトリアム傾向				47

自らの意見や提案を出し、率先して実行に移そうとする。  
 意見が衝突して、対人関係で問題を起こす可能性もある。  
 自分の発言や引き受けた事に対し、責任を持つとする。  
 自分の意思や行動に自信があり、周囲からも信頼される。  
 皆から頼りにされ、意見や行動をまとめていこうとする。  
 多少の事で動揺したりせず、気持ちにムラが少なく安定。  
 強く命令されたりすると、その相手に対して反感をもつ。  
 自分で決断をすることができ、自発的に物事を実行する。

## 4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか

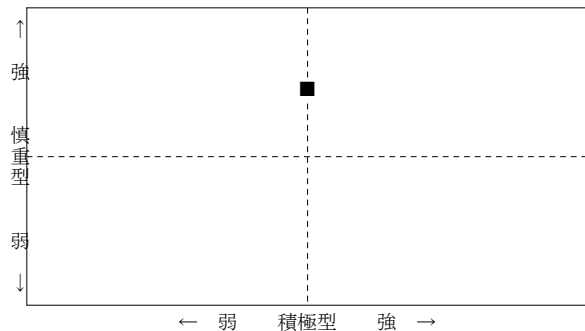
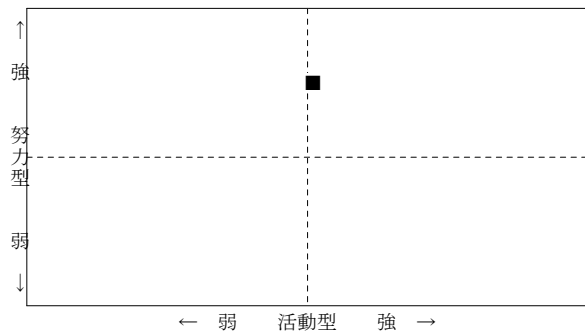
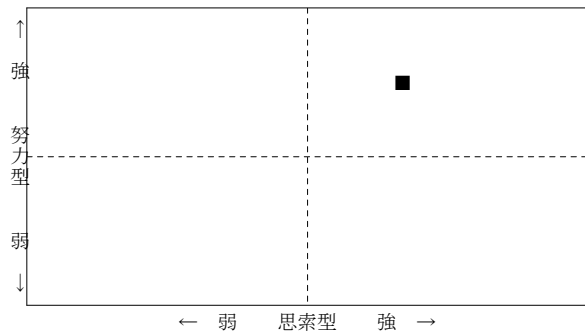
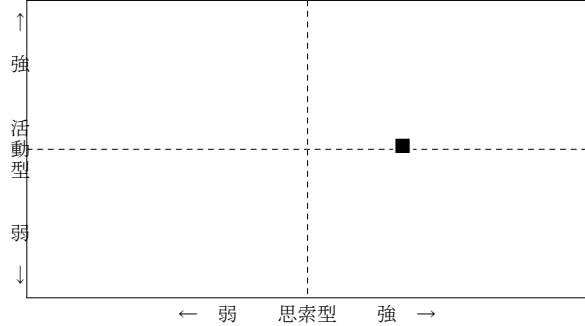
意欲の側面	弱	普通	強	指数
達成 欲求				52
親和 欲求				48
求知 欲求				50
顕示 欲求				57
秩序 欲求				64
物質的欲望				64
危機 耐性				65
自律 欲求				59
支配 欲求				56
勤労 意欲				61

自分が輪の中心となり、人を楽しませたり興奮させたい。  
 自己範囲内の環境や物事は、キチンと整理しておきたい。  
 モノを獲得し保持したい、失いたくないなど物欲がある。  
 逆境に耐え、苦しいときも我慢よくやり抜こうとする。  
 他人に依存したり頼りきった生活より、自力で生きたい。  
 人の上に立ち、他人を動かすような力関係を形成したい。  
 仕事への意欲があり、生きがいの部分として考えている。

■この人は「増やしたい、減らしたくない」系統の欲求群が一番強く、ついで「苦勞を乗越え、成長したい」系統の欲求群となっている。逆に「より高い水準に自分をしたい」系統の欲求群には淡泊な反応である。

【本人の性格特性】

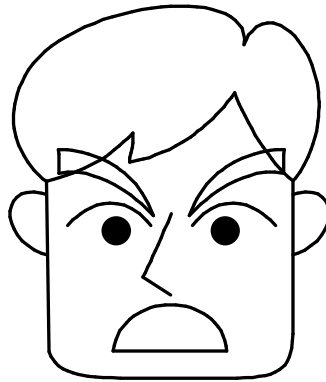
■印が本人の位置



【心理要素イメージ】

眉の太さ：指導性  
 瞳の直径：達成欲求  
 鼻の高さ：顕示欲求  
 顔の輪郭：性格類型  
 眉の傾き：従順性  
 目の傾き：達成欲求+求知欲求  
 口の形状：親和欲求+協調性

逆三角顔 = 思索型  
 エラ顔 = 積極型  
 細長顔 = 自制型  
 丸顔 = 活動型  
 角顔 = 努力型



【自己評価】

意欲・ヤル気	管理・対人能力	思考能力
積意根責 極欲気任 実熱強感 行意さ	決指リ自調折 断導 己整衝 勇力ダ信力力 気 頼	独現洞企專情 創状察画門報 斬分力立知活 新析案識
A A A A	A A A C A A	A A A A A A
A	A	A

【採用判定】

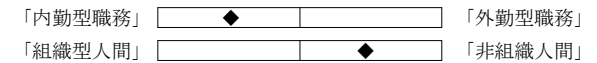
定着性・安定性 = 14

CUBICの判定結果 = 「B」

【判定結果A】予測推定値（見所）

(1) 一般的職場状況での可能性		53
(2) 海外など精神力の必要な職務		66
(3) 足腰のよさが武器になる職務		54
(4) 集中力、緻密さの必要な職務		70
(5) 標準化された仕事や工場労働		55

【判定結果B】当人の傾向



【判定結果C】大まかな職業興味領域とその方向性

- 「最適」企画、組織の運営、経営管理のような仕事
- 「最適」研究的、探索的な仕事や活動の領域
- 「適切」規則や慣習に従った行動、事務的な仕事
- 「適切」音楽、創作、文芸など芸術的な仕事や活動
- 「適度」営業など対人的接触をとまう仕事
- 「適度」物を対象とする、具体的で実際的な仕事

【判定結果D】配置適性1

《適性の高い順》

- 「最適」基礎研究管理者
- 「最適」基礎研究者
- 「最適」企画管理者
- 「最適」研究管理者
- 「最適」研究開発者
- 「適切」経理管理者

《低い順》

- 「適度」営繕専任者
- 「適度」営業専任者
- 「適度」秘書専任者
- 「適度」営業管理者
- 「適切」広報専任者

【判定結果E】配置適性2

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| (1) 「最適」調査分析    | (1) 「努力」受注窓口   |
| (2) 「最適」研究開発    | (2) 「小適」秘書     |
| (3) 「最適」基礎研究    | (3) 「小適」営業アシスト |
| (4) 「最適」経営企画    | (4) 「適度」倉庫     |
| (5) 「最適」編集校正    | (5) 「適度」購買     |
| (6) 「最適」商品企画・開発 |                |